

学校名	宮城県志津川高等学校	課程	全日制	学科 (コース・部)	普通科	募集定員	80人
-----	------------	----	-----	---------------	-----	------	-----

求める生徒像

本校は、将来地域を支え、地域を担っていく有為な人材を育成するため、地域に根ざし、地域に学び、地域を考える学習を重視しています。その上で、生徒の多様な進路目標達成のため、生徒の個々に即したきめ細やかな学習指導に力を入れ、生徒の夢の実現を全力でサポートしています。

また、宮城県唯一の連携型中高一貫教育を実施する高校として、高校教員が連携中学校で授業を行ったり、生徒会や部活動で中学生とともに学んだりしています。

本校では、このように地域や他者との積極的な関わりの中で自らを磨こうとする、次の1～5に当てはまる生徒を求めます。

- 1 本校への志望理由が明確であり、入学後も進路実現に向けて努力できる生徒
- 2 基本的な生活習慣が身に付いており、日常の学習活動に対して真剣に取り組める生徒
- 3 中学校の学習において、特に国語、数学、英語の基礎基本が身に付いている生徒
- 4 中学校において、部活動、生徒会活動、ボランティア活動等に意欲的に取り組んだ生徒
- 5 これからの地域の担い手を目指し、自覚を持って日々の諸活動に主体的に取り組もうとする生徒

特に、特色選抜／連携型選抜においては、上記の3、5を重視します。

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜／連携型選抜	共通選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる 学科・コース	なし		面接
共通選抜		16人（募集定員の20%）	I 面接 1 形態 集団面接 2 時間 15分程度 3 内容 (1) 志望動機 (2) 中学校での活動状況 (3) 高校生活への意欲 (4) その他 4 観点 (1) 態度 (2) 表現力等
学力検査:調査書	5 : 5		
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5:5とする。 ※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」			
特色選抜:16人(募集定員の20%)		連携型選抜:48人(募集定員の60%)	
対象:連携型中学校以外の者及び連携型中学校を過年度に卒業した者		対象:令和2年3月に連携型中学校を卒業見込みの者 ※出願資格については、ii ページを参照	
I 配点 1 調査書 135点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭 ……………全学年の評定を1.0倍にする 2 学力検査 650点 ・ 国語, 数学, 英語…得点を1.5倍にする ・ 社会, 理科……………得点を1.0倍にする 3 面接 3段階評価(A～C) 合計 785点 II 選抜方法 ・ 審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する16人の120%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。			※面接については、1日目に実施する。

第二次募集（選抜方法等）

I 配点	面接・実技・作文
1 調査書 225点 ・ 国語, 数学, 英語……………全学年の評定を1.0倍にする ・ 社会, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭…全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 300点 ・ 国語, 数学, 英語(各教科100点満点) 3 面接 3段階評価(A～C) 合計 525点 II 選抜方法 上記Iを基に、総合的に審査し、選抜する。	I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 第一次募集と同じ 4 観点 第一次募集と同じ

学校名	宮城県志津川高等学校	課程	全日制	学科 (コース・部)	情報ビジネス科	募集定員	40人
-----	------------	----	-----	---------------	---------	------	-----

求める生徒像

本校は、将来地域を支え、地域を担っていく有為な人材を育成するため、地域に根ざし、地域に学び、地域を考える学習を重視しています。その上で、生徒の多様な進路目標達成のため、生徒の個々に即したきめ細やかな学習指導に力を入れ、生徒の夢の実現を全力でサポートしています。

また、宮城県唯一の連携型中高一貫教育を実施する高校として、高校教員が連携中学校で授業を行ったり、生徒会や部活動で中学生とともに学んだりしています。

本校では、このように地域や他者との積極的な関わりの中で自らを磨こうとする、次の1～5に当てはまる生徒を求めます。

- 1 ビジネスやコンピュータによる情報処理に強く関心をもち、本校への志望理由が明確で、入学後も進路実現に向けて努力できる生徒
- 2 基本的な生活習慣が身に付いており、日常の学習活動に対して真剣に取り組める生徒
- 3 中学校の学習において、特に国語、数学、英語の基礎基本が身に付いている生徒
- 4 中学校において、部活動、生徒会活動、ボランティア活動等に意欲的に取り組んだ生徒
- 5 これからの地域の担い手を目指し、自覚を持って日々の諸活動に主体的に取り組もうとする生徒

特に、特色選抜／連携型選抜においては、上記の3、5を重視します。

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜／連携型選抜	共通選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる 学科・コース	なし		面接
共通選抜		8人（募集定員の20%）	I 面接 1 形態 集団面接 2 時間 15分程度 3 内容 (1) 志望動機 (2) 中学校での活動状況 (3) 高校生活への意欲 (4) その他 4 観点 (1) 態度 (2) 表現力等
学力検査：調査書		5 : 5	
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は 5:5 とする。 ※調査書点：「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」			
特色選抜：8人(募集定員の20%)		連携型選抜：24人(募集定員の60%)	
対象：連携型中学校以外の者及び連携型中学校を過年度に卒業した者		対象：令和2年3月に連携型中学校を卒業見込みの者 ※出願資格については、ii ページを参照	
I 配点 1 調査書 135点 ・ 国語、数学、社会、英語、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 ……………全学年の評定を1.0倍にする 2 学力検査 650点 ・ 国語、数学、英語…得点を1.5倍にする ・ 社会、理科……………得点を1.0倍にする 3 面接 3段階評価(A～C) 合計 785点 II 選抜方法 ・ 審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する8人の120%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。			※面接については、1日目に実施する。

第二次募集（選抜方法等）

I 配点	面接・実技・作文
1 調査書 225点 ・ 国語、数学、英語……………全学年の評定を1.0倍にする ・ 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭…全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 300点 ・ 国語、数学、英語(各教科100点満点) 3 面接 3段階評価(A～C) 合計 525点 II 選抜方法 上記Iを基に、総合的に審査し、選抜する。	I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 第一次募集と同じ 4 観点 第一次募集と同じ